

インガム

六八

イニスフェール

四五

マッケー

五三

ダウンスヴキール

二

合計

三五五

「クインスランド」州糖業地方在留者ハ広漠ナル前記ノ諸地方ニ散在シ其内日本人会ノ設アルハ「ケインズ」及「マツケー」ノ二地ニ止リ其他ノ地方ニハ団体的ノ組織ナキカ故ニ免除証書出願者ノ統計調査ハ当館ニ於テ有ラユル手段ヲ尽シタルニ拘ラス其精数ヲ得難ケレトモ同地方在留者ノ総数四百人ヲ超ユルコト多カラサル見込ニテ其内ニハ小商人洗濯業者等ヲモ含ミ居ルノ事実ニ顧ミ且ツ各自ヨリ当館ニ愁訴シ来レル者ノ実数ニ依リテ案スルニ免除証書ヲ出願シテ拒絶セラレタル者ノ数ハ約四十人ト見テ大差ナカルヘク是等ハ何レモ一旦他業ニ転シタルモノナレハ本件ノ解決ハ日本人ノ関スル限り意外ノ好成绩ヲ得タル次第ニ有之候序ヲ以テ右等在留民ノ状態ヲ述フレハ其現状言フニ忍ヒサルモノアリ即チ彼等ノ大多数ハ单身放縦ノ行動ヲ敢テシ酒色ニ溺レ賭博ニ耽リ日給八志乃至拾志(四五円)ヲ得ルニ

拘ハラス貯蓄ノ念ニ乏シクシテ概ネ之ヲ浪費シ言行賤劣ニシテ喧嘩争鬭ノ振舞多ク警察官ヲ煩ハスコト決シテ珍ラシカラスシテ当国人ノ嫌厭スル所トナル間々本邦有識ノ旅行者ナド其有様ヲ見兼ネ説諭ヲ加フルモ却テ反抗ヲ招キ迷惑シタル実例サヘ有之当館ヨリ発スル諭告ノ如キモ格別ノ実効ヲ奏セサルモノ、如ク遺憾ノ至リナリ

右及具報候 敬具

事項一四 「ペルー」移民雜纂

- 一 森岡移民合名会社取扱關係
- 二 東洋移民合資会社取扱關係

一 森岡移民合名会社取扱關係

三一四 一月十六日

安楽警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

「ペルー」国行契約移民多数逃亡ニ付森岡移

民会社ニ嚴重戒告及同社ヨリ提出ノ始末書進

達ノ件

進第三九号ノ二

(一月十七日接受)

大正三年一月十六日

警視總監 安 楽 兼 道 (印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

客年十二月二十七日附通送第七二四四号ヲ以テ秘露国行契約移民逃亡始末ニ関スル御申越ノ件了承森岡移民会社ニ対シ将来ノ取扱上ニ就キ嚴重戒告致置候処別紙始末書差出候

一四 「ペルー」移民雜纂(一) 三一四

ニツキ及進達候也

註 日本外交文書大正二年第二冊一五七文書
(別紙)

秘露契約移民逃亡ニ関スル始末書

弊社取扱秘露国行契約移民ニシテ大正二年六月安洋丸便(八月二日「カリヤオ」着)「カニエテ」耕地行参百六拾名及八月紀洋丸便(十月二日「カリヤオ」着)「カニエテ」耕地行百六拾四名「パラモンガ」耕地行四拾七名中「カニエテ」耕地行移民多数逃亡ノ件ニ関シ御示達ノ趣敬承仕候近來再々撰択方ニ関シ御示達相成弊社ニ於テモ右撰択方ニ関シ各地方代理人ニ嚴重ニ注意致居リ漸次改良ノ緒ニ就キ居リ候際管テナキ多数ノ強行逃亡者ヲ出シ候ハ該移民ノ大部分ヲ鹿児島県ニ採リ候ト右募集代理人ノ採用日淺ク事務不熟練ナリシ等ノ關係モ有之候得共撰択不充分ナリシコト重ナル原因ヲナシ候コト恐縮ノ至リニ存上候

四五九

過般「カニエテ」耕地行移民中鹿児島県人ヲ多数ニ募集シタルハ同耕地ハ英國製糖会社ノ所属ニ有之弊社秘露移民開始以來ノ顧客ニ有之且又現今弊社契約耕地中頗ル大規模ノモノニ屬シ該会社亦大ニ本邦人ヲ歡迎シ同社労働者ノ大部分ハ本邦人ニ有之毎回ノ契約數亦數百ニ上リ居リ候ニ付右注文ニ応ズル為メ多数集團の移民ヲ募集セントシ當時鹿児島県ハ沖繩県ト共ニ伯刺西爾移民ニ失敗シ居リ候モ秘露ニ於テハ沖繩県人ハ成績良好ナルト嘗テ鹿児島県人ヲ一時ニ百數十人ヲ渡航セシメタルコトモ有之候得共何等ノ故障モ無之ノミナラズ伯刺西爾ニ於テハ先着移民ニ於テ逃亡勧誘ニ関シ頗ル大仕掛ノ設備有之候由ニ候得共秘露ニ於テハ特ニ右様ノモノモ無之而シテ目下本邦人ノ發展地トシテハ重ニ南米方面ノ囑望セラル、今日伯刺西爾ニ渡航ノ途ヲ失ヘル彼等ハ必ズヤ前轍ヲ踏ムノ愚ヲ為サルベク且又同県人ハ特殊ノ団結力ヲ有シ候ヲ以テ多数移民ノ供給ヲ要スル場合ニ於テ伯刺西爾方面ニ發展シ能ハザル多数ノ希望者ヲ満足セシムルト同時ニ鹿児島県人ト雖トモ必ズシモ移民ガ逃亡ノ素質ヲ具ヘ居ル次第ニモ無之候間該勢力ヲ利用シ一部ノ地盤ヲ作り逃亡防止ノ一助トナサン希望ニ外ナラザリシ

右逃亡ニ関スル始末書如斯ニ御座候也

追テ秘露ニ於ケル報告ハ領事御報告ト大差無之候間省略仕候也

大正三年一月十四日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保 田 龜 太 郎 (印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

三一五 一月二十八日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社及「ペルー」国「サン、アグス

チン」農業会社間ノ移民供給契約許可方稟請

ノ事情報告ノ件

機密第三号 (三月十六日接受)

大正三年一月二十八日

在里馬

領事 森 安 三 郎 (印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

森岡移民合名会社、「サン、アグスチン」農業会社間移民

次第ニ有之候且逃亡防止ニ関シテハ十有余年苦心經營シ来レル秘露移民ノ地盤ニ動揺ヲ来タシ将来日本移民ノ發展ニ大影響ヲ及ホス次第ニモ有之加之元來營利会社ノ事ニ有之候間直接多大ノ利害關係モ有之候次第ニ付不斷本支店協力シテ之レガ防止策ヲ研究シツ、有之候ノミナラズ各地方代理人ニモ募集ノ都度嚴重ニ注意致シ前記參百六拾人ノ移民渡航ニ際シテハ自ラ乗船地ニ於テ契約其他ノ一般ヲ説明シ代理人ノ言語ノ矛盾セルヤ否ヤヲ確メ懇論シタル次第ニ候得共意外ニモ事弊社ガ期待セシ処ト反對ノ結果ヲ見ルニ立至リ九月十日突如逃亡ノ旨及鹿児島県移民募集中止ノ飛電ニ接シ候間直ニ鹿児島県ノ募集ヲ中止シ同時ニ八月出帆紀洋丸ニ百余名ノ鹿児島県移民ヲ乗船セシメタル旨同月十一日附ヲ以テ打電シ之レガ逃亡防止ノ策ヲ講ゼシメ候モ失敗ニ終リ再ビ逃亡者ヲ出スニ至スニ至リ候事甚ダ遺憾ニ堪ヘザル次第ニ有之候尤モ今回ノ如キ多数ノ強行逃亡者ヲ出シ候ハ鹿児島県人ノ特殊ナル団結力ヲ利用シ之ヲ煽動シタルモノアルニ對シ他県移民ノ附和雷同シタルモノニ有之候間将来募集方法ヲ改善シ猶一層撰択ヲ嚴重ニシ再ビ失態ヲ重ネザル様充分注意可致候也

供給契約ニ関シ森岡ヨリハ純農ノミヲ精選スベキニ付許可アリ度旨申立居ルモ同社取扱移民先般ノ失態ニ顧ミ此際暫ク本件ヲ許可セザルヲ可トセザルヤ愚見回電方昨日貴電第一号ヲ以テ御申越相成致敬承候右ハ本日拙電第一号ヲ以テ移民着後ノ成績如何ニ依リ今後ノ新契約ニ對スル許可ヲ決スルコトトシ本件ハ御許可アリ度ク但シ本耕地ハ都府ニ近ク最モ嚴重ノ選択ヲ要スル旨及答申置候処更ニ右説明旁效ニ詳細ノ事情及具申候

抑モ当国ニ於テハ現時産業ノ發達未ダ著シカラズ東部森林地方並ニ中部山岳地方ニ於テモ護謨採集鉆山發掘等多少ノ事業ナキニアラザルモ主タル産業ハ海岸地方ニ於ケル河川ノ流域ニ發達セル甘蔗、棉花、米等ノ耕地並ニ石油採掘事業等ニシテ從來本邦移民ノ労働セルハ多クハ此等甘蔗及棉花ノ耕地ニアリ、而シテ此等ノ耕地ニアリテハ或ハ専ラ當国土人ノミヲ使役セルアリ或ハ黑人並ニ本邦人ヲモ混用セルアリテ其本邦人ヲ使用スル理由タル勤勉ニ且ツ技術勝レタルニモ依ルト雖モ又土人労働者ハ多クハ山間地方ニ於ケル農耕ノ余暇短期契約ノ下ニ耕地ニ来リテ労働シ満期後ハ再ビ郷里ヘ帰還スルヲ例トスルヲ以テ間断ナキ労働ヲ要ス

ル耕地ニアリテハ不便不勘去迎諸般ノ設備不完全ニシテ殺風景極マル当国耕地ニ現時ノ如キ低廉ナル賃銀ヲ以テ歐洲勞働者ヲ誘入スルガ如キハ殆ンド不可能ノコトニ属シ而カモ支那人ハ既ニ入国禁止ノ状態ニアレバ今日ノ所結局本邦移民ヲ入ル、ヲ最モ便益トスルモノ、如ク、唯前述ノ通り産業ノ發達著シカラズ且ツ国内土人勞働者ノアルアリテ本邦移民ニ対スル需用ニハ自ラ限度ナキヲ得ズ、殊ニ競争者ノ地位ニアル土人等ノ本邦移民ニ対スル態度ノ如キ最モ顧慮ヲ要スル所ナリ而シテ本邦移民ニ対スル当国有力者間ノ意向ヲ察スルニ耕地勞働者トシテハ之ヲ歡迎スルモ其ノ耕地ヲ出テ、都市ニ集来シ諸般ノ小商業ニ従事スルコトハ他日紛擾ヲ惹起スルノ素因ヲナスモノトシテ之レヲ悦バザルモノノ如シ

以是本邦移民中既ニ比較的多數ノ都市居住者ヲ見ル今日此上更ニ都会生活ヲ希望スル新移民ヲ続々移入シテ耕地ニ於ケル本邦勞働者ノ声価ヲ失墜シ又都市ニ於テ本邦人ノ体面ヲ毀損シ国人ノ反感ヲ招クガ如キハ最モ警戒ヲ要スル所ナルガ昨年十月二十七日附拙信公第六^(註)二号末段ニモ申述置タル通近時各耕地ニ於テハ漸次諸般ノ改良ヲ施シ賃銀モ確實

ニ一ソル二十仙以上ヲ支払フ様相成且ツ事業ノ擴張ヲ計リ從テ勞働者ノ必要ヲ感ズル結果從來本邦移民ヲ使用シ来レル耕地ハ勿論新耕地ニ於テモ新ニ契約ヲ締結シテ本邦移民ヲ入レントスル傾向アルヲ以テ充分之レガ配布ニ注意シ且ツ其選択ヲ勵行スルニ於テハ今後尙多數ノ本邦移民ヲ容ル、余地ハ有之モノト思考致サレ候唯之ガ募集ニ際シ専ラ耕地勞働ニ従事スベキ者ノミヲ選択スルニアラサレバ縱令何等カノ方法ニ依リ契約期間丈ハ耕地ニ留マラシムルコトヲ得ルトスルモ早晚都府ニ出ツルニ於テハ結局從前ト同様ノ結果ヲ見ルニ至ルベク候

然ルニ移民取扱人ニ取リテハ其周旋ニ係ル移民ニシテ永ク定住シテ耕地勞働ニ従事スルニ於テハ勞働者ノ需用ニ自ラ限度アル事情ニ顧ミ將來新契約ニ依リテ収益ヲ得ルノ機会ヲ減スルノ不利益アリ且当地ニ渡航スルニハ移民ハ各自二百円内外ノ入費ヲ負担セサルベカラサルヲ以テ之ヲ全然純農中ヨリ募集セントセバ多少ノ困難アルベク、從テ移民取扱人ガ果シテ此等ノ不利益ヲ忍ビ尚且ツ誠實ニ移民ノ精選ニ努力スベキヤ聊疑ナキ能ハズ是レ從來屢次其筋ヨリ純農精選ノ嚴達ニ接シ居ルニ拘ラズ依然之ヲ実行セザル所以ニ

アラザルナキヲ保スベカラズ從テ相当制裁ヲ加フルニアラザレバ到底彼等ヲシテ募集上移民ノ精選ニ努メシメ又到着後之ガ監督保護ノ責務ヲ尽サシムルコト能ハサルベク、貴電ノ御主旨亦此ニ在ルモノト恐察致候實ハ本契約証認後森岡代理人ヨリ右証認ノ趣本省へ電報方願出タルモ先般ノ失態ニ顧ミ此際同社ニ対シ或ハ何等御訓達若シクハ御処分可有之ト思考セシヲ以テ之ヲ聽許セザリシモ再三ノ依頼ニ依リ前記公第六二号拙信到着ノ時機ヲ見計ヒ昨年十二月十三日ニ至リ右依頼ニ応ジ及電報タル次第第二有之候

而シテ本「サン、アグスチン」耕地ハ拙信並ニ拙電ニモ申述置タル通里馬及ビ「カヤオ」ニ近接シ居リ移民逃亡上至便ノ地位ニアルモ一面ニ於テ当館並ニ森岡ニ於テ移民ノ状態ヲ監視スルニモ亦極メテ便宜ナルヲ以テ果シテ森岡ニ於テ此際移民ノ募集上嚴重ナル選択ヲ実行スルヤ又当地代理人ニ於テモ誠實ニ其責務ヲ尽シ良好ノ成績ヲ挙グルコトヲ得ルヤ、將又移民ヲ精選スルモ尚且ツ逃亡ハ免レサルモノナルヤ等ヲ実験スルニ格好ノ場所ト思考セラレ且ツ本耕地ニ対シテハ小官視察ノ際不完全ナル点ヲ指摘シテ其改良ヲ促シ其後耕主ヨリハ改メテ書面ヲ以テ之ガ実行方申越シ来

リ又森岡代理人ニ於テモ必ズ之ヲ実行セシム可キ旨誓約セシヲ以テ証認ヲ与ヘタルモノニシテ新耕地ノコトニテモアリ、今更他耕地ニ於ケル失態ヲ理由トシテ移民ノ供給ヲ差止メタル、ニ於テハ或ハ將來新耕地トノ契約締結上困難ナル事情ヲ醸スニ至ル様ノコトナキヤ、現ニ新耕地ヘノ供給延引ノ為メ耕地側ヨリ種々苦情ヲ申出タルノ実例モ有之旁本契約ハ之ヲ御許可相成様致度旨及電請タル次第第二有之候然ルニ昨年十二月二十九日附公第七二号並ニ本月十日附公第一号拙信ヲ以テ及具報置候「サンニコラス」「パラモンガ」及「カニエテ」耕地契約ハ耕地ノ現状ハ新移民ヲ入ル、ニ何等不都合ノ点無之様思考致候得共前頭ノ趣旨ヲ貫徹スル為メ「サン、アグスチン」耕地新移民着後ノ成績ヲ見極ムル迄御許可御見合セ相成トモ何レモ年来本邦移民ヲ使用シ居ル耕地ノコト、テ別段將來ノ障礙ヲ残ス様ノ虞有之間敷思考致候

尚先年東洋移民会社取扱ノ「サンホーセ」耕地移民モ着後ノ成績甚ダ宜シカラズ、當時本社ニ於ケル移民選択ノ粗漏ナリシハ勿論当地代理人ニ於テモ監督保護上充分其責務ヲ尽サザリシヤニ聞及居候ニ付同社ニ於テモ今回新ニ移民発

送ノ折柄森岡移民ノ失態ニ鑑ミ之ニ対シテモ予メ同様御警告方不堪希望候
右及具申候 敬具

註 日本外交文書大正二年第一冊一五三文書

三一六 二月十六日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社及東洋移民会社取扱移民到着ニ

付報告ノ件

公第四号

(四月十三日接受)

大正三年二月十六日

在里馬

領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

移民取扱人森岡移民合名会社取扱第二十八回移民男女六拾六名外携帯児三名並ニ東洋移民合資会社取扱男女百名本月五日カヤオ港着安洋丸ニ到着別表ノ通り夫々カニエテ耕地、モケグア耕地及サンホセ、イ、スーテ耕地ニ輸送セラレ候

右及報告候 敬具

山口県		沖繩県	
一二	五	九二	八
一三	一〇	一〇〇	一〇〇

合計百名携帯児無し

三一七 二月十八日 谷口鹿児島県知事ヨリ
坂田通商局長宛

「ペルー」著後逃亡セル本邦移民ノ募集当時

ノ状況回報ノ件

保発第四七八号

(二月二十一日接受)

大正三年二月十八日

鹿児島県知事 谷 口 留五郎(印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

客年十二月二十七日付通送第七二四五号ヲ以テ御申進ニ係ル右ノ件本県ニテハ秘露国行契約移民ハ農業従事ノ目的ナルヲ以テ農業ニ経験アル者ニ限り許可スル方針ニテ募集従事ノ移民取扱人業務代理人ニモ篤ト注意ヲ与ヘテ募集ヲ為サシメ関係警察署長分署長ヘモ注意シテ募集者ノ身元調査ノ確実ヲ期シ客年六月及八月ニ許可シテ出発セシメタル者ハ別紙ノ通ニテ農業ノ経歴ナキ為却下シタルモノモ多数有

一四 「ペルー」移民雜纂(一) 三一七 三一八

(別紙)

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正三年二月五日カヤオ港着

耕地名	上陸地	県名	男	女	計
カニエテ耕地	セロ・ア スール港	熊本県	二七	二七	五四
モケグア耕地	イロ港	沖繩県	二二	二二	四四
合計		山梨県	三二	三二	六四
		合計	三四	三二	六六

合計六拾六名外ニ携帯児三名

東洋移民合資会社取扱移民配置表

大正三年二月五日カヤオ港着

耕地名	上陸地	県名	男	女	計
サン・ホセ・ イスーテ耕地	サマンコ港	福岡県	二一	二一	四二
		愛知県	三	三	六
		三重県	一五	一五	三〇
		岐阜県	一	一	二
		滋賀県	一	一	二
		岡山県	一	一	二
		広島県	八	八	一六
		合計	五九	五九	一一八

之一々身体検査農業上ノ実地試験ハ為サマリシト雖身元調査ノ結果ニテ全ク農業ノ経験ナク労働ニ堪ヘザル者ヲ許可シタル事実ハ無之候逃走ニ付テハ身元内偵ノ際ニハ特ニ其ノ真相ヲ得ルニ努メシメタルモノナルモ在里馬領事ノ報告書ニヨリ前後ヲ綜合スルニ元来県下ノ移民ハ殆ンド川辺日置揖宿ノ三郡民ニ限り居リ従テ渡航先輩者多数ナルヲ以テ移民ヲ出願スル者ハ大抵之ヲ模倣スル者ニシテ客年ノ秘露行契約移民モ殆ンド右三郡民ニテ契約終了ノ上ハ尚渡航先輩者ノ如ク各々有利ノ方面ニ活動成功ヲ期セム覚悟ニテ渡航セシ者ナレバ船中ニテ船員等ノ教唆勧誘ニ遭遇シテハ前後ノ思慮モナク他ニ有望ノ事業アラント思料シ各々決心シテ相携ヘテ逃走ヲ企テシモノト思料セラレ候

註1 日本外交文書大正二年第一冊一五八文書

2 別紙省略

三一八 三月十四日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社ト「ペルー」国「ツマン」農業

会社外三者トノ移民供給契約証認ノ件

公第十号

(四月二十四日接受)

大正三年三月十四日

在里馬

領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

森岡移民合名会社対「ツマン」農業会社、「ラレ
ード」耕地主「ホセ、イグナシオ、チョピテア」、
「カサグランデ」製糖会社、並ニ「チクリン」耕
地主「ラルコ、エレラ」兄弟商会間移民契約証認
之件

一、「ラムバエケ」州「チクラヨ」郡「チクラヨ」原野所
在「ツマン」及「カルーペ」耕地所有主「ツマン」農業会
社へ七ヶ月間ニ本邦移民独身男子百名及夫婦五十組合計二
百名ヲ供給スベキ客年十月十五日附契約
本契約ハ之ヲ客年十二月五日附森岡移民合名会社対「パラ
モンガ」農事会社ノ契約ニ比較シ相違ノ条項ヲ列挙スルコ
ト次ノ如シ

第一条ニ於テ移民ノ供給期間ヲ七ヶ月トシ独身男子百名夫
婦五十組トセルコト並ニ右独身男子ハ耕地支配人ノ判断ニ
ヨリ先ヅ甘蔗刈込若クハ其積載ニ使用セラルベキコトヲ特

他ノ理由「ナル文字ヲ附加セリ

第二十一条ハ追加条項ト認ムベキモノニシテ夫婦移民ガ其
兒女ヲ携帶渡航スル場合ニ於テハ其数二名ヲ超エザルベク
又其結果耕主ニ於テ何等金員ノ交付其他ノ義務ヲ負ハザル
ベキコトヲ規定セリ

右ノ外全然同様ニシテ何等差異ノ点ヲ認メズ

同耕地ハ明治三十六年五月二十二日森岡トノ間ニ始メテ移
民供給ノ契約ヲ締結シタルモノニシテ其結果同年八月契約
移民百三十二名(男百十七名、女十五名)自由移民百十一
名(男百七名、女四名)ノ入耕ヲ見タリシガ當時耕地支配
人及監督ノ処置寛大ニ失シ為メニ移民ノ規律紊乱シ遂ニ三
十八年ニ至リ本邦人間ニ殺傷事件ヲ惹起シタル結果耕地側
ノ嫌惡ヲ招キ四ヶ年ノ契約期間ヲ完了セズシテ遂ニ三十八
年七月解約セラレ全部「カニエテ」耕地へ転住スルノ不幸
ナル結果ニ終リタリ

當時森岡ハ一旦収納シタル手数料ノ一部ヲ耕主ニ返還スベ
キモノタリシニ係ラズ爾來其義務ヲ果サマリシ為メ今回契
約ノ成立ニ際シ前記ノ通り百名ニ対スル手数料ヲ辞退シ負
債ノ償却ヲナスニ至リタル次第ナリ

ニ規定セリ

第二条ニ於テ年齢ノ制限、身体健全及品行方正等ノ諸点ヲ
特ニ男子ニ対シテ制限セリ

第八条ニ於テ監督ヲ二人二種トシ首度監督ハ最初一ヶ年月
俸十二磅、次席監督ハ同六磅ヲ受ケ次年度ヨリ年々首席者
ハ一磅次席者ハ八「ソル」宛ノ増給ヲ受クベキコトヲ規定
セリ

第九条ニ於テ森岡ニ対スル移民周旋料ハ從來ノ通り一人二
磅半トシ移民ノ引渡ト同時ニ其支払ヲナスベキコトヲ規定
スレドモ前契約(明治三十六年五月二十二日附)ノ際耕主
ノ蒙レル損害ノ賠償トシテ森岡ハ今回供給ノ二百名中単ニ
百名ニ対シテノミ前記ノ手数料ヲ申受ケ他ノ百名ニ対シテ
ハ之ヲ辞退スベキコトヲ規定セリ

第十条ニ於テ到着港ヲ「エテン」港トシ移民搭載船ガ「カ
ヤオ」又ハ「エテン」港ニ於テ檢疫ヲ受クル場合ニ於テハ
耕地主ハ森岡ニ対シ移民一人ニ付五十仙宛ヲ支払フベキコ
トヲ規定シ猶公衆衛生「其他ノ理由」ニヨリ全員ノ上陸禁
止セラレ然シテ該船ガ他港ニ向ハザルベカラザル場合ニ到
達セルトキハ其仕払義務ヲ免ルベキコトヲ規定シ即チ「其

右耕地ハ「カヤオ」港ノ北方三百三十七哩ヲ距ツル「エテ
ン」港ノ東北鐵路約三十四基米突ノ地ニ在リ秘露国ノ名族
「パルド」兄弟ノ合資タル「ツマン」農業会社ノ所有ニ属
シ「チクラヨ」原野最大ノ甘蔗耕地ニシテ南方「サカニヤ」
原野ニ於ケル富豪「アスピエガ」家所有ノ「カヤルチー」
耕地ト対峙シ秘露北方ニ於ケル最モ有望ナル耕地ニシテ經
済界ノ信用確実ナリ

耕地ヲ大別シテ「ツマン」及「カルーペ」ノ二区トシ総面
積千六百「ファネガダ」(一「ファネガダ」ハ凡我三町歩ニ
相当ス)内蔗園七百五十「ファネガダ」及牧場五十「ファ
ネガダ」ニシテ其他ハ灌溉不充分ノ為メ目下未耕ノ状態ニ
アリ、昨年五月二十五万「ソル」ヲ投シテ竣工セル製糖所
ハ「クラッシャー」附九軋子ノ最新式器械ヲ以テ一ヶ年約
三十万「キンタール」(一「キンタール」ハ百二十目ニテ
百斤ニ相当ス)ノ赤砂糖ヲ製造シ主トシテ智利及英國ニ輸
出シ又副産物タル「アルコール」亦六万「ギャロン」ニ上
リ国内及「ボリビア」地方ノ需要ニ応ズ

南緯六度ニ位スルヲ以テ気温ハ里馬附近ニ比シ遙ニ高熱ナ
リ然レドモ毎日午前十一時頃ヨリ海岸ノ冷風吹キ来ルト比

較的樹木ノ繁茂セルトハ自然暑氣ヲ緩和スルニ力アリ且ツ山嶽海岸ヨリ遠ク然モ高峰ノ稀ナルヲ以テ山嶽地方ヨリ雨氣ヲ持チ來シ十二月及一月ノ頃ニハ時々降雨アリ、時ニ三時間ニ亘ル大雨ヲ見ルコトアリト云フ、一年ノ最暑期ハ十二月ヨリ三月迄最冷期ハ七、八、九月ノ三ヶ月トス病院ハ稍々旧時ノ建造ニ属スレトモ面積九百平方呎、診療室、外科室及薬局アリ、優ニ十六名ノ患者ヲ收容スルコトヲ得、專屬医師、看護人、薬局員及小使等各一名アリ特殊ノ疾病ト認ムベキモノナケレトモ当国ノ風土病タル「テルシアナ」ト称スル間歇熱アリ

総支配人以下役員悉ク秘露人ニシテ総支配人ハ年齢未ダ三十一ニノ青年ナレトモ曩ニ欧米及東洋ヲ巡歴シ布哇ニ於テ製糖業ヲ実修セル相当新智識ニ富メル人物ナリ目下使用労働者ノ数約七百人内「セラノ」族(山嶽地方ノ土人)三百五十人、「モンセフ」族(附近原野ノ土人)三百人ヲ主トシ別ニ支那人及黒人各十名本邦人十三名ヲ算ス

野外労働者ハ殆ンド総テ「タレア」制度ニシテ一人ノ取得一日平均一「ソル」トス其分量ハ附近耕地ニ比シ稍輕量ニ

ニ比シ幾分ノ進歩ヲ認ム

飲用水ニ関スル特別ノ設備ナク小川ヨリ汲取ルヲ常トシ一見黄色ノ濁水ナレトモ少許ニシテ泥土沈澱シ清水トナル、水質ハ「リマ」附近ノ耕地ニ比シ寧ロ良好ナリトノ評アリ一、「ラ、リベルタッド」州「シルヒーヨ」郡「サンタ、カタリーナ」原野所在「ラレード」甘蔗耕地所有主「イグナシオ、チョピテア」ニ九ヶ月間ニ夫婦移民五十組ヲ供給スベキ客年十一月二十九日附契約

本契約ハ前顯森岡対「バラモンガ」農事会社間ノ契約ニ比較スルニ

第一条ニ於テ九ヶ月間ニ男女百名ヲ供給スルコトシ猶ホ本契約書ノ末段ニ於テ右百名トハ夫婦移民五十組即チ男女各五十名ヲ意味スル旨並ニ夫婦移民ニシテ都合上兒女ヲ攜帶スル場合ニ於テハ其数二人ヲ超ユベカラザル旨ヲ夫々別項ヲ以テ追加規定セリ

第二条ニ於テ年齢制限、身体ノ健全及品行方正等ノ諸条件ヲ特ニ男子ニ制限セリ

第九条ニ於テ到着港ヲ「サラベリー」港トセル外全然同様ナリ

シテ疾キハ五時間遅キモ七時間ヲ以テ之ヲ完了ストイフ工場ニ於ケル労働ハ普通時間制度ニシテ最低一「ソル」以上、性質ニヨリ二「ソル」五十仙迄ヲ取得ス

本邦労働者ハ三十八年中森岡移民ノ解約後一時其跡ヲ断チタルモ其後他耕地ノ旧移民転來スルモノアリテ現今ニ於テハ十三名ヲ算ス一名ノ工場内ニテ火夫ヲナセルモノ、外ハ悉ク野外労働ニ従事シ一日一「ソル」(時間外労働ヲナシ漸ク一「ソル」二十仙ニ達ス)ヲ取得ス、彼等ノ多クハ既ニ土人化シ飲酒又ハ賭博ニ耽リ本邦移民ノ特徴タル勤勉貯蓄ノ美風ヲ失ヒ耕地側ノ信用良好ナラズ

物価ハ総ジテ南方耕地ニ比シ幾分低廉ニシテ殊ニ米ハ此地方ノ主要ナル農産物ナルヲ以テ廉価ナリ、生活費ハ普通一ヶ月十「ソル」ヲ以テ支弁シ得ベシ

今回契約ニ係ル移民中独身男子百名ハ甘蔗ノ刈込又ハ積載ニ使用セラレ「ツマン」本部ニ其住屋ヲ新築スベク又夫婦移民五十家族ハ耕地内ノ三村落ニ住居ヲ新造シ各家族ニ一家ヲ供与セラレ主トシテ甘蔗ノ耕作ニ従事セシムル予定ニシテ其成績如何ニヨリテハ将来布哇ニ於ケル受泰ノ方法ヲ採用スル意見ナリトイフ右家屋ノ規模及設備等ハ南方耕地

本耕地ハ「ラレード」農事会社ト称シ当国上院議員「ホセ、イグナシオ、チョピテア」ノ所有ニ属シ經濟上ノ信用確實ナリ

「サラベリー」港(「カヤオ」港ノ北方二百八十八哩)ノ東方鉄路約二十四基米突ノ地ニ在リ、蔗園ノ面積一千「フアネガダ」外ニ牧場百「フアネガダ」、未耕地四百「フアネガダ」ヲ有シ「クラッシャー」附六軋子ノ圧搾機ヲ以テ白及赤砂糖年額三十万「キンタル」ヲ製シ白砂糖ハ内地及「ポリビア」国ニ於テ消費セラレ赤砂糖ハ主トシテ智利及英國ニ向テ輸出セラル、又「アルコール」産額ハ約十万「ギャロン」ニシテ内地及「ポリビア」方面ノ需要ニ応ズ、然シテ目下新造中ノ製造所ハ本年三四月頃落成ノ予定ニシテ「クラッシャー」附十五軋子ノ圧搾機ハ既ニ据付ヲ終レリ、之ヲ運轉ノ曉ニハ五万「キンタル」以上ノ増額ヲ得ル見込ナリト云フ

氣候ハ里馬附近ニ比シ遙カニ高温ニシテ二、三、四ノ三月最モ甚シク日蔭ニ於テモ摂氏三十五六度ニ上ルコトアルモ夜間ハ十六、七度ニ下リ、七、八、九ノ三月ハ最モ好季節ニシテ昼間二十四五度夜間十三度ヲ常トス、且ツ湿氣少ナ

ク蟻子ノ棲息又比較的僅少ナリ、土人ノ家屋ハ旧時ノ建造ニ係リ衛生状態ハ可良ト称スルヲ得ズ、飲料水ハ井戸ヨリトルモノト川水ヲトルモノトノ二種アリ水質共ニ不可ナラズ、疾病ハ他耕地ト同様間歇熱ヲ第一トシ脚気及赤痢病之ニ次グ、昨秋ベスト病発生シ本年一月末迄患者二十五名死者十三名ヲ出シタルモ極力防疫ニ従事シタル為メ目下発生ノ虞ナシト云フ

爾來耕主ニ於テモ耕地ニ於ケル一般衛生ヲ顧慮シ各種ノ改善ヲ計リツツアリ

病院ハ建築古ク設備不完全ナレトモ薬局及手術室アリ、男三十名女十五名ヲ收容スルコトヲ得、西班牙人ノ医師、土人ノ薬局員、小使各一名之ニ專屬ス

由來本耕地ハ森岡ノ手ヲ經テ明治三十九年十一月中男女百一名次テ四十一年十二月中広島県男女八十三名ノ入耕ヲ見タルモ移民ノ撰択宜シカラズ体格不良ニシテ純農ト認ムベキモノ僅少ニシテ中ニハ年少ノ学生上リヲ混入シ居リタルト一方耕地支配人及監督其人ヲ得ザルニ加ヘ労働分量過重ニシテ且ツ多数ノ病者ヲ出シタル為メ頓ニ移民ノ元氣ヲ沮喪セシメ期間満了後ハ漸次退耕シ今日ニ於テハ一名ノ残留

組合ヘ九ヶ月間ニ男子移民五十名ヲ供給スベキ客年十一月二十五日附契約

本契約ハ前顯森岡對「パラモンガ」農事会社間ノ契約ニ比スルニ

第一条ニ於テ九ヶ月間ニ男子五十名ヲ供給スルコト並ニ第九条ニ於テ到着港ヲ「サラベリー」港トシ最後ニ夫婦移民ノ渡航スル場合ニ於テ携帯スル兒女ノ数ヲ二名ニ制限セラレベキコトヲ追加規定セルノ外何等ノ相違ヲ認メズ
本契約書ハ從來森岡ニ於テ慣用セル書式ヲ使用セルノ結果第一条ニ於テ特ニ「女子」ノ文字ヲ刪除セルニ関ラズ女子ノ労働義務ニ関シ規定セル第七条ヲ其儘トシ更ニ夫婦渡航ノ際ニ於ケル携帯兒ノ数ヲ制限セル条項ヲ追加セル為メ夫ニ同伴セル妻ハ果シテ契約移民ト認メラレ本契約書ノ各項ヲ適用セラルベキモノナリヤ其意義ノ明白ヲ欠クヲ以テ右一応耕主ニ対シ交渉ヲ遂グベキ旨下命シ置キタルニ別紙添付ノ願書ヲ提出シ目下当事者不在ノ故ヲ以テ右解決ヲ俟タズシテ証認アリ度旨願出タリ

本耕地ハ「サラベリー」港ノ北方鐵路四十九「キロ」ノ地ニアリ「ラルコ、エレラ」兄弟ノ所有ニ屬シ投資額十萬磅、

者ナク第一次及第二次共全ク失敗ニ終リタリ

現今使用ノ労働者数ハ約一千人ニシテ「セラノ」族六百八人海岸地方ノ土人四百人ナリトス、本耕地ハ地勢上山地ニ接近セルガ為メ土人労働者ノ供給比較的容易ニシテ從テ労働分量ハ重キ傾向アレトモ「タレア」ハ大抵午後三時迄即チ八時間ヲ以テ終了スト云フ、土人ノ給料ハ食料附九十仙(食料ノ価額約二十仙)ヲ平均トス

甘蔗刈ハ重量制度ニシテ車台ニ積込ム迄ノ労働ヲ含ミ甘蔗一屯ニ付六十仙、燒蔗一屯ニ付四十仙ヲ給セラル

今般契約ニ係ル男女百名ノ移民ハ先ヅ甘蔗刈込及積載ノ労働ニ使用セラル、予定ニシテ漸次適當ナルモノヲ撰ビテ工場ニ使用スル見込ナリトイフ、住居ハ一般土人部落ヨリ隔絶セル地ニ新築スベク其構造及設備他耕地ニ比シ何等遜色ナキノミナラズ特ニ衛生上ノ注意ヲ払フベキ趣ナリ

物価ハ「ツマン」耕地ニ比スレバ幾分高価ノ傾アレドモ南方耕地ニ比シ殆ンド同様ナリ、一人一ヶ月約十一円、夫婦ナレバ二人十七八円ヲ以テ支弁シ得ベシ

一、「ラ、リベルタッド」州「ツルヒーヨ」郡「チカマ」原野所在「チクリン」耕地所有主「ラルコ、エレラ」兄弟

經濟上ノ基礎鞏固ナリ

總面積三千百「フアネガダ」内蔗園七百二十五「フアネガダ」ヲ有シ専ラ甘蔗ノ耕作ニ従事シ收穫及製糖ハ兄「ヴィクトル、ラルコ、エレラ」所有ノ「チキトイ」耕地ニ依頼シ居レリ、砂糖二十八萬三千「キンタール」及「アルコール」四萬五千「ガロン」ヲ製出シ之ヲ「チキトイ」耕地ト折半ス、労働者ノ數約五百人悉ク「セラノ」族ヲ使用ス、一切周旋業者ノ手ヲ經ズシテ耕主直接労働者ノ雇入ニ當ル、労働ノ種類ハ悉ク耕作ニシテ「タレア」制度ナリ、給料ハ六十仙ヲ平均トシ三十仙ニ相當スル食事ヲ供シ且ツ一「タレア」ニ付十仙宛ノ賞与ヲ給スルヲ以テ實際ノ收得ハ約一「ソル」ニ該當ス

右賞与金ノ半額五仙ハ積立金トシテ保管シ労働者ノ貯蓄心ヲ養成スルノ方法ヲ執レリ

「タレア」ハ八時間ヲ標準トスレドモ大抵其以前ニ之ヲ完了スルヲ普通トス、概シテ「ラレド」耕地ニ比シ其分量輕シトノ評アリ、附屬耕地タル「サラマンカ」耕地ニハ四人ノ本邦人労働者アリテ耕作ニ従事シ食事附九十仙ノ賃銀ヲ受ケ居レリ

衛生設備ノ完全セルコト秘露第一ノ称アリ労働者ニ対スル新築家屋ノ如キ内容外觀共ニ模範のニシテ他耕地ニ於テハ到底見ルベカラザルモノトス、殊ニ寢台ノ如キ鉄製ノモノヲ供与シ居レリ、飲用水ハ鉄管ヲ以テ井水ヲ引キ共用栓ヲ各所ニ設ケ一般労働者ニ供給ス

病院ハ其規模稍々狭少ナレトモ手術室及薬局ヲ具備シ患者二十名ヲ収容シ医師、藥局員、看護人等附属セラル、又宏壯ナル「コンクリート」造ノ水浴場アリ、労働者ノ浴槽ハ約幅五間長サ十間ノ大サアリ、設備ノ完全ナル、耕地トシテハ寧ロ贅沢ノ觀アル位ナリ

又運動場アリ日曜日ニハ開放シテ移民ノ娛樂用ニ供ス

氣候ハ「ラレド」耕地ト大差ナク午後ヨリ海岸ノ冷氣ヲ受クルヲ常トス間歇熱ノ外特種ノ疾病ナシ

物価ハ「ラレド」耕地ト約同様ニシテ一ヶ月ノ生活費ハ約十一円ヲ以テ足ルベシ

一、「ラ、リベルタッド」州「ツルヒーヨ」郡「チカマ」原野所在「カサ、グランデ」及附属耕地所有主「カサ、グランデ」製糖会社ヘ九ヶ月間ニ男子移民五十名ヲ供給スベキ客年十一月二十六日附契約

造場ヲ有シ一ヶ年砂糖産額六十万「キンタール」、「アルコール」十二万「ギャロン」ニ上ル、目下「カサ、グランデ」本部ニ於テ新工場建造中ニシテ明年正月落成ノ予定ナルガ十四軒子及十二軒子ノ圧搾機二台ヲ以テ一日約千二百噸ノ甘蔗ヲ圧搾シ得ベシト云フ

総支配人以下殆シテ總テ独乙人ナルヲ以テ万事独乙式ニシテ規律整然トシテ永久的計画ノ下ニ經營振頗ル堅実ナリトノ定評アリ

氣候ハ概シテ「チクリン」耕地ト大差ナク氣温ハ夏期室内ニ於テ三十二度屋外三十七、八度ニ上リ冬期ニ於テハ最低温度十五度ニシテ湿度少ク又午後ヨリハ海岸ヨリノ冷風来ルヲ常トス労働者部落ハ衛生状態良好ニシテ間歇熱ノ外特種ノ風土病存在セズ

目下使用ノ病院ハ規模狭少ナレトモ患者三十名ニ対スル一般ノ設備ヲ具有シ独乙人医師ノ下ニ藥局員一名、看護人二名、小使一名アリ、来ル七月始ヲ以テ新造セントスル病院ハ優ニ患者八十名ヲ収容スベク万般ノ設備遺憾ナキヲ期スル趣ナリ

物価ハ「ラレド」及「チクリン」ニ比シ約一割方高価ニシ

本契約ハ之ヲ前頭森岡対「パラモンガ」農事会社間ノ契約ニ比較シ相違ノ条項ヲ指摘スルニ

第一条ニ於テ九ヶ月間ニ男子五十名ヲ供給スルコト、シ第九条ニ於テ到着港ヲ「サラベリー」港トシ猶ホ追加条項トシテ夫婦移民ハ兒女ノ数二名ヲ超エザル限リ携帯渡航シ得ルコトヲ規定セリ

然シテ本契約ニ於テモ前頭「チクリン」耕地トノ契約ト同様夫婦移民ノ入耕スル場合ニ於テ其妻ヲ夫ト同様契約移民ト認メ之ニ本契約ノ中女子ニ対スル規定ヲ適用スベキカノ点ニ関シ稍々明瞭ヲ欠クヲ以テ耕主ニ対スル交渉方ヲ森岡ニ下命スルトコロアリシモ当事者不在ノ理由ニヨリ右交渉ノ結果ヲ俟タズシテ証認ノ義ヲ願出タリ

本耕地ハ「サラベリー」港ヲ去ル北方鐵路六十三基米突ノ地ニアリ表面「カサ、グランデ」製糖会社ノ經營スルトコロナレトモ事実上南米ニ於ケル有力ナル独乙ノ資本家「ギルデマイステル」一家ノ所有ニ屬シ秘露ニ於ケル大耕地ノ一ナリ、資本金獨貨八百万瑪、蔗園二千五百「ファネガダ」、牧場二百「ファネガダ」ヲ有ス

「カサ、グランデ」本部及附属耕地「サウサル」ニハ各製

テ普通一ヶ月十二「ソル」ノ生活費ヲ要スベシ

労働者ノ数二千五百人ヲ算シ野外労働者ハ總ジテ「タレア」制度ニシテ七八時間ヲ標準トス、一日ノ取得七八十仙、之ニ食事約二十仙ヲ供スルヲ以テ九十仙又ハ一「ソル」ヲ以テ普通トス

工場内労働ハ多ク時間制度トシ仕事ノ性質ニヨリ給料ニ差等アリ、一日十二時間ノ労働ニテ八、九十仙ヨリ二「ソル」五十仙迄ヲ取得ス

由來本耕地ハ賃銀低廉ナルニ反シ労働分量比較的苛重ナリトノ評アリシガ昨年四月本耕地ヲ中心トシテ附近一帯ノ耕地ニ亘リ賃銀引上ノ一大同盟罷業惹起セシ以來幾分ノ改善ヲ加フルニ至リタリト云フ

現今本耕地ニ就業セル本邦移民ハ僅ニ二名ニ過ギズシテ菜園耕作ニ従事シ食事附月給三十五「ソル」ヲ支給セラレ耕地側ノ信用良好ナリ

契約移民ノ入耕ハ今回ノ五十名ヲ以テ嚆矢トシ悉ク工場内ニ之ヲ使用スル趣ニシテ其成績如何ニヨリ進ンデ新契約ヲ締結スルノ意思アリト云フ

猶ホ前記四耕地ノ状況ハ曩ニ同地方面ヲ視察シ來レル春日

通訳生ノ口頭復命ノ大要ニ有之委細ハ不日同通訳生ヨリ提出スベキ復命書ニヨリ御悉承相成度候

既記ノ通り「ツウマン」及「ラレード」ノ両耕地ハ本邦移民ノ入耕ヲ試ミタルモ全然失敗ニ帰シタル苦キ経験ヲ有シ本邦移民ノ声価ニ対シ幾分ノ危懼ヲ有セルモノ、如ク又「カサグランデ」及「チクリン」両耕地ニアリテハ本邦移民ノ入耕契約ハ今回ヲ以テ嚆矢トナシ今後成績ノ如何ニヨリテハ引続キ契約締結ノ意向ヲ有スルモノノ如ク附近ノ大耕地ニ於テモ内々多大ノ興味ヲ以テ右移民ノ成績ヲ覬測シ居ルノ状況ナルヲ以テ今回ノ移民ニシテ依然従来ノ悪成績ヲ繰返スニ於テハ今後信用ヲ回復スルノ機会ハ容易ニ到来セザルベク是等有力ナル北方耕地ニ対シ入耕ノ望絶ユルノ虞有之候次第ニ付移民取扱人ニ於テモ此形勢ニ留意シ一々移民各個ニ就キ嚴重ニ其資格ヲ検定シ誠意模範の移民ノ募集ニ努ムルノ必要有之、曩ニ本年一月二十八日付機密第三号拙信ヲ以テ縷々具申ノ次第モ有之候へ共是等ノ四耕地ハ孰レモ将来移民ノ入耕地トシテ有望ナル耕地ト相認メ候ニ付此際森岡ニ対シ右状況嚴重ノ上本日ヲ以テ前記契約四通ノ証認ヲ取計置候次第ニ候へバ本契約御許可ノ場合ニ於テ

書面契約承認願ニ対シ別紙ノ通夫々詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度候尚ホ秘露国行契約移民ニ付テハ専ラ耕地労働ニ従事スヘキ純粹ノ農業者ヲ選択スルヲ必要条件ト致シ居リ渡航後忽チ耕地ヲ去ツテ都市生活ヲ希望スルモノハ絶対ニ除斥セザルベカラサル事情有之従来屢次同取扱人ニ示達シタル所アルモ尚充分実効ヲ奏スルニ至ラズ依然耕地逃亡者頻出スル趣同地帝国領事ヨリ報告ノ次第有之斯カル際ニ今回新ニ各耕地ヲ合シテ六百五十名ノ多数取扱ヲ承認シタルニ付テハ其選択上ニ一層注意ヲ要スヘキハ勿論若シ其結果不成績ナル時ハ同取扱人ノ秘露国行移民ノ取扱ニ将来嚴重ナル処置ヲ執ルノ止ムナキニ至ルベクト存候ニ付其旨同取扱人ニ御嚴重相成度此段併セテ申進候也
追テ同取扱人ヨリ本文移民ノ募集地方名書ヲ徴シ至急御送付相成度此段申添候也

註 別紙指令書省略

三三〇 三月二十三日

坂田通商局長ヨリ
宮城県外十県知事各宛

「ペルー」国「パラモンガ」耕地等行移民ハ

純農夫ヲ選択スル様注意方ニ関スル件

一四 「ペルー」移民雜纂(一) 三三〇 三三一

ハ本社ニ対シテモ特ニ嚴重ニ右ノ趣旨御訓達相成候様致度冀望ニ不堪候

猶ホ「インフアンタス」耕地ノ状況ニ関シテハ春日通訳生ヨリ委曲報告有之ベク候へ共同耕地ハ「リマ」市附近ニ位シ種々改良ヲ要スル点モ有之從テ移民逃亡ノ機会多キヲ免レザルベク此際「サン、アグスチン」耕地ニ於ケル成績ヲ見定メタル上ニアラザレバ本邦移民ヲ入ル、コト危険ト認メラレ候ニ付右契約ハ当館ニ於テ之ガ証認ヲ見合セ其旨森岡ニ示達致置候
右及報告候 敬具

註 別紙省略

三一九 三月二十三日

坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

「ペルー」国「パラモンガ」耕地等行契約移

民承認通知ニ関スル件

通送第一三七一号

大正三年三月四日付進第二三九号ノ二、進第二四三号ノ二、進第二四四号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管下移民取扱人森岡移民合名会社ヨリ提出シタル秘露国行契約移民ニ関スル

通送第一三七〇号

宮城県 福島県 福岡県 広島県 山口県 沖縄県
熊本県 山梨県 岡山県 福井県 新潟県

以上各県知事宛各通

今般森岡移民合名会社ニ対シ秘露国「パラモンガ」耕地行契約移民男屯百名、「サンニコラス」耕地行男五十名夫婦五十組及「カニエテ」耕地行夫婦二百組募集ノ義承認相成候ニ付不日貴県下ニ於テ該移民若干名ノ募集ニ着手可致候然ルニ同国行移民ニ就テハ専ラ耕地労働ニ従事スベキ純粹ノ農業者ヲ選択スルヲ必要条件ト致シ居ルニ拘ラズ從來渡航セル移民中ニハ兎角耕地労働ヲ好マズ渡航後忽チ耕地ヲ去ツテ都会生活ヲナサントスル者アリテ耕地労働者トシテノ成績依然トシテ思ハシカラサル模様ニ有之若シ本移民ガ従前ノ如キ不成績ニ終ルニ於テハ将来嚴重ナル処置ヲ執ルベキ旨同取扱人ニ嚴重致シ置候条右御含ノ上本移民募集ニ付テハ耕地ニ定住スベキ純農夫ニ非サレバ決シテ渡航御許可相成ラサル様特ニ嚴重御取締相成度此段申進候也

三二一 四月十五日

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民合名会社取扱移民到着ニ付報告ノ件

公第一五号

(五月二十七日接受)

大正三年四月十五日

在里馬

領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

移民取扱人森岡移民合名会社第二十九回移民男女四十八名
本年四月二日カヤオ港着紀洋丸ニテ到着即日別紙ノ通り
「サン、アグスチン」耕地へ輸送セラレ候
右及報告候 敬具

(別紙)

森岡移民合名会社取扱第二十九回移民配置表

大正三年四月二日カヤオ港着

耕地名	上陸地	県名	男	女	計
サン・アグ スチン耕地	カヤオ	宮城県 福島県 山梨県 熊本県	一二 一一 一五 四七	一 一 一 一	一二 一二 一五 四八

三三二 四月十六日 加藤外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

「ペルー」国「パラモンガ」「カニエテ」「サ
ンニコラス」三耕地行移民募集ヲ承認セル事
情通報ノ件

通送第一四号

移民取扱人森岡移民合名会社ニ対シ「パラモンガ」「カニ
エテ」「サンニコラス」三耕地行移民ノ募集ヲ承認セル旨
客月二十三日電報ニテ及御通知置候処該移民取扱許可ニ関
スル詳細ノ事情貴官御心得ノ為メ左ニ申進候本年一月二十
八日付機密第三号貴信末段ニ前記三耕地行移民ハ場合ニヨ
リ当省ノ許可見合セトナスモ雇主トノ関係ニ於テ支障ナキ
旨御申越ニ付之レガ詮議ヲ遂ゲタルニ大正二年六月安洋丸
便「カニエテ」耕地行及八月紀洋丸便同耕地行移民多数逃
亡ニ関スル始末書別紙甲号写ノ通り森岡移民合名会社ヨリ
差出シ尚ホ鹿児島県知事ヨリモ本件逃亡ニ関スル取調書別
紙乙号写ノ通り提出有之執レモ「カニエテ」耕地ニ多数逃
亡移民ヲ出シタルハ特種ノ事情アルヘキヲ説明致シ居候尚
ホ前示三耕地行移民雇傭契約ハ已ニ貴官ニ於テ証認ヲ与ヘ

ラレタルニヨリ森岡移民取扱人ハ該移民取扱ノ心組ニテ夫
々準備ニ取係リ居リ若シ「サン、アグスチン」耕地行移民
ノ成績如何ニヨリ本移民ノ許否ヲ決スルトナストキハ今
後少クトモ数ヶ月ノ後ヲ俟タサルベカラズ且ツ此ノ如キ男
女ヲ通シ僅カニ五十名ニ過キサル移民ノ成績ニヨリ一般移
民ノ許否ヲ決定スルハ穩当ナラサル義ニ付已ニ貴官ノ証認
済ノ分ハ全部渡航ヲ了セシメ而テ其結果如何ニヨリ将来嚴
重ナル処置ヲ執ルコト、シ特ニ移民ノ精選ニ注意可致旨移
民募集地ノ各地方長官並ニ移民取扱人ニ通達致置候ニ付右
御舍ノ上新渡航移民ノ実績ニ深ク御留意相成度將又耕地勞
働ニ従事スル者ノミヲ精選スルモ逃亡ハ免レ難キ傾向アリ
ヤ又契約期滿了後ニ於テ都市ニ出デントスル者ヲ抑止スル
コトハ到底不可能ナルベキニヨリ之レガ為メ都市生活者ノ
数増加ストセバ全然耕地行新移民ノ渡航ヲ差止メサルヲ得
サル程実害切迫シ居ルヤ是等一般ニ亘ル情況周密調査相
成度候次ニ客年十一月二十九日付通送第九四号ヲ以テ秘露
国沿岸航行費額ノ義ニ関シ申進置候次第有之候処尚ホ今回
森岡移民合名会社ヨリノ申出ニ依リニ同会社ト東洋汽船株
式会社間ニ取結ビタル移民船賃ニ関スル約束ハ終了シ今後

同汽船会社ハ「カヤオ」港ヨリ北方ニ逆航シテ沿岸諸港ニ
移民ヲ上陸セシムルコトハ絶対ニ為サルベク又南方行ト
テモ多数ノ移民ヲ搭載シタルトキニ非ザレバ沿岸港ニ着船
セシメズ此場合ニ他船ニ移民ヲ移乗セシムル周旋方ハ従前
通り引受クベキモ是迄ノ如ク五円ノ低額ニテハ引足ラサル
ニヨリ損失ナキ丈ケノ運賃支払ヲ受ケ度由ノ申出ニ接シ森
岡ヨリハ会社ト交渉ヲ果ネタル末今回承認ヲ得タル新移民
ニ限り「カヤオ」港滞在費及乗船費用ヲ森岡ノ負担トシ
テ船賃九十五円ヲ百円ニ引上ゲ取扱フコトニ船会社ニ於テ
讓歩シタル趣ニ有之候右ノ次第ニツキ尚ホ向後本問題ノ解
決ヲ必要トスル場合生スベキニヨリ其実況御調査ノ上貴見
御申越相成度此段申進候也

註 別紙前掲、尚大正二年十一月二十九日附通送第九四号ハ
同年日本外交文書第一冊一六八文書

三三三 五月二十九日 坂田通商局長ヨリ
伊沢警視總監宛

「ペルー」北方海岸「ツマン」「ラレード」
「チクリン」「カサグランデ」四耕地行移民
募集ニ当リ移民ノ資格厳査方ノ件

通送第三六一三号

今般森岡移民合名会社ノ出願ニヨリ秘露国北方海岸ニ在ル四耕地ニ雇入レラル、移民募集取扱方ヲ承認致シ候処其中「ツマン」及「ラレード」兩耕地ニハ往年本邦移民ノ入耕ヲ試ミ全然失敗ニ終リ雇主ニ於テモ幾分ノ危懼ヲ有シ居リ又「チクリン」及「カサグランデ」兩耕地ニハ今回初メテ本邦移民ヲ入耕セシムルコト、テ其成績ノ如何ハ試験的ノモノニテ若シ結果良好ナルトキハ雇主ハ引續キ契約締結ノ意向ヲ有スルモノ、如ク附近ノ大耕地ニテモ私カニ一種ノ興味ヲ以テ本移民ノ成績ヲ觀測シ居ルノ状況ナルヲ以テ今回ノ移民ニシテ依然從來ノ如キ不結果ヲ齎スニ於テハ其信用ヲ失墜シ容易ニ回復ノ機会ナカルベク斯クテハ是等有望ナル北方耕地ニ入耕ノ望ミ絶ニルノ虞可有之ニヨリ移民取扱人ニ於テモ此事態ニ留意シ本移民募集ノ際移民個々ニ就キ其資格ヲ嚴査シ情実ニ流レズ誠意模範的の移民ヲ供給スルコトニ努ムルヲ要スル旨特ニ在里馬帝國領事ヨリ報告ノ次第有之候ニ付其旨同移民取扱人ニ御示達相成尚右御示達ノ趣該移民募集地々方長官へ御通報相成度此段申進候也

御認可相成度依命此段申進候也

追テ本契約移民手数料トシテ十五歳以上一人二十五円拾貳歳以上十五歳未満一人十円十二歳以下無手数料トシテ御認可相成候ハ本件自由移民トハ關係無之候ニ付其儘御差置相成差支無之候

三二五 六月十七日 在リマ森領事ヨリ 加藤外務大臣宛

森岡及東洋ノ兩移民会社取扱移民到着ニ付報

告ノ件

公第二三三三 (七月三十一日接受)

大正三年六月十七日

在里馬

領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵加藤高明殿

移民取扱人森岡移民合名会社取扱第三十回移民男女貳百六拾三名外ニ携帶児拾名並ニ東洋移民合資会社取扱男女二十九名本月九日カヤオ港着靜洋丸ニテ到着別表ノ通り夫々カニエテ耕地、サン・ニコラス耕地、パラモンガ耕地、サン・アグスチン耕地及イソラ、ブライス組合耕地ニ輸送セラレ候

三二四 六月十七日 松井外務次官ヨリ

北海道長官、警視總監、各府県知事宛

通送第三九九五号

北海道庁長官 警視總監

各府県知事(東京府ヲ除ク)

今般移民取扱人森岡移民合名会社ガ秘露国「ツマン」及「カルーペ」耕地行移民ノ供給ヲ雇主ト契約スルニ方リ其契約条項中ニ男移民ハ年齢二十歳以上四十五歳以下ナルヲ要ス又夫婦移民ハ未成年児ノ数二名ヲ超過セサル限リハ之レヲ携帶スルコトヲ得ト取定メアリ然ルニ右未成年児ニ対スル渡航許可取扱方ニ関シ各地方庁ニ於ケル取扱方一定セサル趣ニ有之候処該契約移民ノ帶同スル未成年児ハ移民保護法第十三条ニ依ル労働契約ニ因リ渡航スルモノニ非サルガ故ニ自由移民トシテ取扱フベキモノナルモ渡航者ノ志望ニ依リテハ移民取扱人ヲシテ渡航手續等ノ周旋ヲナサシメ移民取扱人ノ取扱ニ依ル自由移民トシテ御処理相成度尚ホ本自由移民ニ対スル移民保護法第十四条ニ依ル手数料ハ五歳以上二十歳未満一人ニツキ金十円五歳未満無手数料ニテ

右及報告候 敬具

(別紙)

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正三年六月九日カヤオ港着

耕地名	上陸地	県名	男	女	計
パラモンガ耕地	スーベ港	宮城県	二〇	一	二一
		広島県	二四	一	二五
		福島県	四三	一	四四
		山口県	五	一	六
		沖繩県	九二	一	九三
		福島県	二六	一	二七
カニエテ耕地	セロ・アスール港	熊本県	二四	一	二五
		広島県	二四	一	二五
		熊本県	六〇	一	六一
		山梨県	一九	一	二〇
		熊本県	一九	一	二〇
サン・ニコラス耕地	スーベ港	熊本県	四七	一	四八
		山梨県	一	一	二
サン・アングスチン耕地	カヤオ港	熊本県	一	一	二
合計			二〇〇	六三	二六三

外ニ携帶児十名

東洋移民合資会社取扱移民配置表

大正三年六月九日カヤオ港着

耕地名	上陸地	県名	男	女	計
イスラ・ブラ イス組合耕地	カヤオ港	沖繩県 広島県 合計	一四 一〇 二四	五 一 六	一九 一〇 二九

三二六 六月十八日 加藤外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

「ペルー」北方四耕地行移民ノ書面契約案承認通知ニ関スル件

会送第二七号

今般森岡移民合名会社ヨリ秘露国「ツマン」及「カルーペ」耕地「ラレド」耕地「チクリン」耕地及「カサグランデ」耕地行移民取扱ニ関スル書面契約案承認ノ義出願致シ候処右原契約ハ既ニ貴官ニ於テ証認ノ上本年三月十四日付公第十号ヲ以テ報告相成居リ差支ナキモノト認メ客月二十八日付ヲ以テ貴官ヨリ御申越ノ模範的移民ヲ募集スベキ様厳達シ夫々承認ヲ与ヘ候而テ「チクリン」耕地及「カサグラン

三二七 十一月十七日 在リマ森領事ヨリ
加藤外務大臣宛

森岡移民会社取扱「ペルー」移民ノ統計略表

進達ノ件

附屬書 右略表

公第四〇号 (大正四年一月六日接受)

大正三年十一月十七日

在里馬 領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

從來森岡移民合名会社取扱移民ニ関スル何等統計的記録無之不便ヲ感シ居リ候ニ付過般同社当地支店ニ命シ同社取扱初航海以來ノ当地移民ニ関スル統計表調製致サセ置候此程出来届出候得共右ハ極メテ浩辭ニ付更ニ之ガ摘要タル別紙略表調製致シ御参考迄ニ及進達候尤モ右ハ当館ノ命ニ依リ今回初メテ十数年来ノ帳簿ヲ整理シ調製シタルモノニテ誤謬不勘殊ニ移民耕地現在数ノ如キ当館最近調査ト著シキ相違有之候得共今後漸次訂正セシメ追々完全ナルモノト為サシメ候心得ニ候此段別紙相添申進候 敬具

デ」耕地行移民供給契約ニ於テ夫ニ同伴スル妻ハ果シテ契約移民ト認メラレ契約書ノ各項ヲ適用セラルルヤ否ヤ其意義明白ナラザル趣ニ付斯クテハ当省ニテ妻同伴移民ノ募集ヲ許可シ若シ耕主トノ交渉ニ妻ヲ契約移民トスルコトヲ承認セラレサル等ノコトアラバ応募移民ニ甚ダシキ迷惑ヲ感セシムベキニヨリ右兩耕地行移民ハ男労働者ニ限ルトシテ定数ノ承認ヲ与ヘ置候ニ付右ニ御了知相成度次ニ夫婦移民ノ同行スル未成年児ニ対スル渡航許可取扱方ニ関シ別紙ヲノ通り各府県知事ヘ通牒致候ニ付為御参考 右等及御送付候尚ホ移民運送船ガ「カリヤオ」港ニ到着シ同港ヨリ耕地上陸港ニ航行スル他船ニ移民ヲ移乗スル場合ノ船賃額ノ義ニ関シ東洋汽船株式会社ヨリ森岡移民合資会社ニ送リタル回答書ヲ差進候該船賃額ニ付テハ其当否當省ニテハ判定致シ難ク今回取扱ノ移民ニ付テハ之レニヨリテ旅費ヲ計出スルコトヲ認メ置キ候尤モ旅費計算ハ見積ナルニヨリ移民渡航後在秘業務代理人ニ於テ清算ヲナスベキ筈ニ付右ニ対シ相當御監督相成度此段申進候也

註 前掲三四文書

(附屬書)

森岡移民合名会社取扱秘露移民統計略表(甲乃至戊)

自明治三十二年四月至大正三年四月

(甲) 県別表

県名	男	女	計
広島県	一一六三	七六	一二三九
新潟県	三七三	一	三七三
山梨県	五九一	三四	六二五
岡山県	一〇六	一	一〇六
東京府	四	一	五
茨城県	一	一	二
愛媛県	三二六	二六	三五二
福岡県	七二三	一四六	八六九
香川県	一五七	三	一六〇
熊本県	一一二	四	一一六
熊本市	一一五〇	一六四	一四一四
静岡県	二八五	一	二八六
沖繩県	三一八	三六	三五四
佐賀県	一一五	一	一一六
和歌山県	一七六	一	一七六
三重県	八二	一	八二
福島県	二六六	一一	二七七
鹿児島県	五〇一	一四	五一五
宮崎県	一八〇	三	一八三
滋賀県	八三	一	八四

合	石川	鳥取	岩手	宮崎	大分	富山	山形	岐阜	愛知	山梨	千葉	長崎	高知	島根	栃木
計	七二二	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
入耕者男	二五	五〇	三〇	二五	五七	九〇	四六	一〇	四六	二七	三一	三六	三	一	二
女	二五	五〇	三〇	二五	五七	九〇	四六	一〇	四六	二七	三一	三六	三	一	二
計	七二二	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七

(乙) 耕地別表

耕地名	入耕者男	女	計
カニエテ	二七	三一	五八
サンニコラス	一〇	四六	五六
パラモンガ	九〇	四六	一三六
カウデビヤ	五七	二二	七九
エストレーヤ	二五	一〇	三五
パアル	三〇	一〇	四〇
ウアル	二五	一〇	三五
ブエンテ、ビエドラ	二五	一〇	三五

(丙) 航海別表

航海	着年月日	船名	男	女	計
第一航海	明治三、四、三	佐倉丸	七九〇	一〇八	八九八
第二航海	明治三、五、三	デック、オブ、フアイフ	七六二	一一	七七三
第三航海	明治三、五、三	敵戸丸	二〇〇	一	二〇一
第四航海	明治三、五、三	敵嶋丸	八六三	四〇	九〇三
第五航海	明治三、五、三	同	七八七	二四	八一一
第六航海	明治三、五、三	同	五三一	二〇	五五一
第七航海	明治三、五、三	香州丸	五二	四	五六
第八航海	明治三、五、三	重米利加丸	五二	四	五六
第九航海	明治三、五、三	香州丸	五二	四	五六
第十航海	明治三、五、三	香州丸	五二	四	五六
第十一航海	明治三、五、三	満州丸	五二	四	五六
第十二航海	明治三、五、三	紀洋丸	一一三	一	一二四
第十三航海	明治三、五、三	武洋丸	一一〇	一	一一一
第十四航海	明治三、五、三	香洋丸	一一七	一	一二八
第十五航海	明治三、五、三	武洋丸	五七	一	五八
第十六航海	明治三、五、三	紀洋丸	四七	一	四八
第十七航海	明治三、五、三	同	八八	一	八九
第十八航海	明治三、五、三	香洋丸	一八六	一	一八七
第十九航海	明治三、五、三	紀洋丸	九六	一	九七
第二十航海	明治三、五、三	香洋丸	二一	一	二二
第二十一航海	明治三、五、三	紀洋丸	九六	一	九七
第二十二航海	明治三、五、三	武洋丸	三九	一	四〇
第二十三航海	明治三、五、三	香洋丸	九一	一	九二

(丁) 移動表

耕地名	入耕者	逃亡	解約	放逐	転航	帰国	現存
カニエテ	三〇	九四	六四	五二	四一	二五	三六四
サンニコラス	一〇	八八	八五	八一	一七	二〇	二六三
パラモンガ	九二	五二	一五	一一	一七	七六	一五八
カウデビヤ	五七	一	一	一	一	一	一
エストレーヤ	二七	二	一	一	一	一	一
パアル	三〇	六二	四五	二	一	一	一
ブエンテ、ビエドラ	二五	一	一	一	一	一	一
カヤルティ	一五	九	一	一	一	一	一
パンパ	五〇	二	一	一	一	一	一
ルンパ	五〇	一	一	一	一	一	一
サンハシントン	三六	二	一	一	一	一	一
ツマ	二五	五	一	一	一	一	一

[illegible]

ワ マ ヤ	五 九	一 一	一 一
サン ア グ ス チ ン	四 八	一 一	一 一
合 計	七 七 五 六	七 四 〇	二 七
(備考)			七 六 七

右ハ在耕中ニ於ケル死亡數ニシテ出耕後ニ於ケル死亡者ヲ包
含セザルヲ以テ渡航者全數ニ對スル死亡率ハ本表ニ示サレタ
ルヨリモ大ナル可シ

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

社間ノ差違ニ関シ調査報告ノ件

(四月十八日接受)

在里馬

領事 森

安三郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

当国へ渡航ノ本邦移民渡航費用ニ関シ從來東洋移民合資会社
社卜森岡移民合名会社卜ノ間ニ差額有之又今回森岡合名会社

一四 「ペルー」移民雑纂(二) 三二八

社ヨリ渡航費増額方申出候趣ヲ以テ右ニ関シ当地ニ於ケル
 実情調査方客年十一月二十九日附通送第九四号貴信ヲ以テ^(註)
 御申越相成致敬承候

信ヲ以テ

御申越相成致敬承候

御来示ノ通り横浜港ト当国「カヤオ」港間ノ移民ノ運送賃
ハ一人ニ付九十円又横浜ト当国「カヤオ」以外ノ港ノ間ハ
九十五円ト相成居リ候処實際上ハ夫以下ノ額ニテ輸送致居
リ其正確ナル額ハ当地ニ於テ之ヲ探知スルコトヲ得ス候ヘ
共八十円乃至八十五円ナルヤニ内聞致候又森岡移民合名会
社ト東洋汽船株式会社トノ協定ニ依レバ「カヤオ」港以南
ノ港ニ対シテハ移民五十名以上ノ場合又同港以北ノ港ニ対
シテハ移民百名以上ノ場合ニ同社船ヲ回航セシメ夫以下ノ
数ニ対シテハ当地同社代理店「グレース」商会ヲシテ目的
港ニ転送セシムルコトト相成居リ尤モ右協定ノ内容ハ之ヲ
確知スルコトヲ得ザルモ實際上森岡ニ於テハ從來「カヤオ」
港ニ於ケル移民ノ滞在費用並ニ転乗費用ヲ支払ヒ居ラズ唯
転乗船ノ「スチュアード」ニ対スル心付、船待ノ為メ移民
ヲ「カヤオ」ニ一時上陸セシムル場合ノ見張番ノ費用並ニ
紀洋丸丈ニハ「カヤオ」港ニ於ケル檢疫結了後他船へ転乗
迄ノ食料一人一食十銭ノ割合ヲ以テ支払フノ外他ハ一切